

第14回SGRAカフェ 「国際的観点から見た日本の新型コロナウイルス対策」 報告

日 時 : 2020年9月19日（土）15：00～18：00
会 場 : 渥美財団2階ホール＋オンライン（Zoom）

渥美財団



約50名がZoomにて、また約10名が財団に来訪という形で出席される中、
今西淳子常務理事のご挨拶で開会



司会を務めた、国際関係論が専門の尹在彦さん（2020年度渥美奨学生）
会場とオンラインで出席される講師の先生方と参加者のお話をスムーズに繋いでくださいました



国立国際医療研究センター国際感染症センター長の大曲 貴夫先生による講演
「国際的観点から見る日本の新型コロナウイルス対策」



コロナ禍と「葛藤の先進国」韓国

□ 集団感染のキリスト教系異端「新天地イエス教会」: 第一波

- 感染者急増の温床、「新天地」のカルト化思考と行動がパンデミックを生む
- 「新天地イエス教会」教祖逮捕、コロナ防疫妨害
- 宗教をめぐる社会的葛藤

□ 「韓国・仁荷大学、秋学期の授業料減免(7.14%)」=学生側「コロナで学習権侵害」

- 大学授業料の返還・減免、75%が賛成⇨大学は財政難
- 「授業料減額の法的根拠がないのは違憲」として憲法訴訟を提起(仁荷大生)
- 選択的パス・フェイル制(Pass/Fail Grading System)の導入要求など学生デモ

コロナ禍と「葛藤の先進国」韓国

□ 「8.15光化門集会(太極旗集会)及びサラン第一教会発感染拡大: 第三波

- 光化門(大規模反政府)集会感染…追跡調査不可の危機
- 第一波は新興宗教で、次はゲイバーで、その次は大統領退陣デモ→責任逃れの「慶女狩り」との批判も→韓国の民主主義は「両刃の剣」

□ コロナ再拡大のなかでの韓国の医師団体のストライキ決行

- 韓国政府による公共医学部設立と医学部定員の拡大に反対し、医師団体による15日余り集団ストライキが続いた。
- 医師らの集団休診(ストライキ)に対し、55.2%が「共感できない」と回答

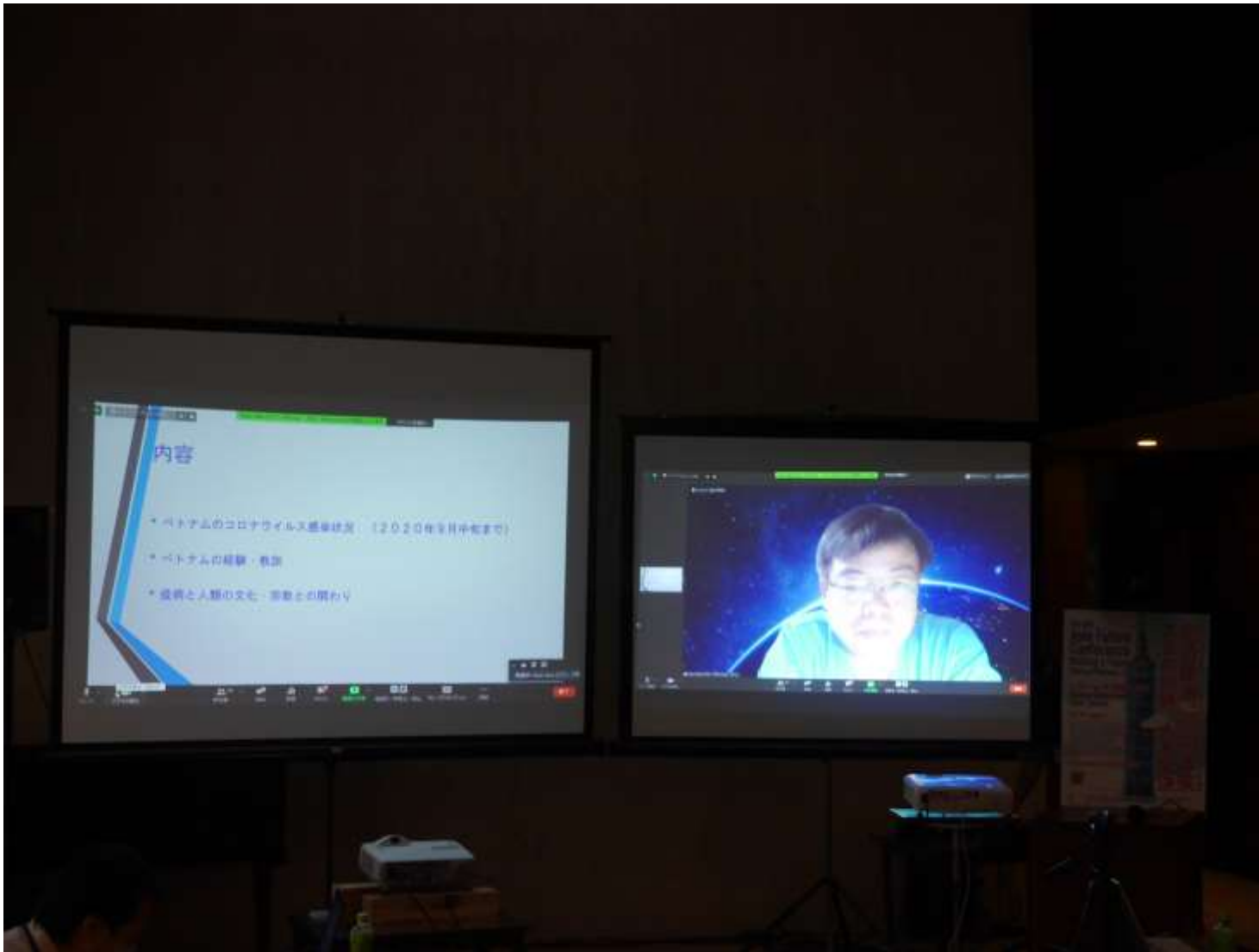
各国からのレポートその①：金 雄熙先生（1996年度渥美奨学生）による韓国からの報告



今でも問題になっていること



各国からのレポートその②：陳姿菁先生（2002年度渥美奨学生）による台湾からの報告



ベトナムからの経験・教訓

- 政府と国民はコロナを「侵略者」「外侵者」と見て、最初から必死に戦っていた。途中、一時にやや自慢したが、直ちに覚悟し、再び善戦した。これはベトナムの歴史からの教訓である。
- 日本の「三密」・ベトナムの「五K」

五K:

- Khẩu trang (マスク)
- Khử khuẩn (殺菌)
- Khoảng cách (間隔の確保)
- Không tụ tập (集いの禁止)
- Khai báo y tế (健康情報システム登録)

疫病と人類の文化・宗教との関わり

- 宗教人類学の一般論：疫病.....病直し....聖なるもの...宗教
- 今回のコロナウイルス：疫病....病直し不可能....聖なるものなし....宗教的な活動自体も中止・短縮 → 宗教人類学の一般論は無用になる。
- ベトナムの宗教者の一部は、コロナウイルス自体を聖なるものと見なし、**コロナウイルスを殺さず**にベトナムから追放したい。
 - 3月上旬、ベトナムの道士たちは、盛大な祭壇を作り、コロナウイルスを祭壇に丁寧に招き、供え物で接待し、そして火を燃やしながらベトナムから退出しましようように祈った。
 - さらに道士たちは、コロナウイルスがその故郷である**中国の武漢**に戻ることを促した。つまり、**コロナがベトナムから退出し、中国本土に帰ることを願っていた**。新しい理論：疫病をその出身地に戻す。

各国からのレポートその③：チュ スワン ザオ先生（2006年度渥美奨学生）によるベトナムからの報告



海外フィリピン人労働者 (OFW) の概要

- ▶ OFWは、低所得者層の家計を支える稼ぎ手である。
- ▶ OFWから家族への送金額はフィリピン国内総生産 (GDP) の10%近くを占めている。
- ▶ 約1000万人のフィリピン人が海外で就労し、現地で生活しており、その地域は北米、ヨーロッパ、中東、そしてシンガポール、台湾、香港などのアジアの一部にも広がっている。

海外におけるOFWSの現状 (displacement)

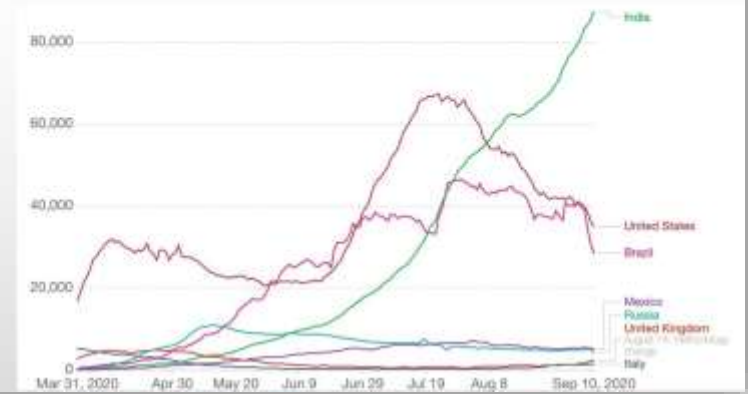
Over 124,000 overseas Filipinos flown home amid COVID-19 pandemic — DFA
Govt prepares for return of thousands of OFWs displaced by COVID-19 pandemic

DOLE: Almost 200k displaced OFWs refuse to return to PH

各国からのレポートその④：ブレンダ テネグラ先生（2005年度渥美奨学生）によるフィリピンからの報告



ピークはまだです!!



新型コロナウイルス感染拡大防止対策

- 医療施設・専門病院の設立
- デリーで世界最大のCovid病院の設立
- 10,200床病院、3000人以上の医師と看護師
- ラッダ・スワーミスワーミベアーズという新宗教団体が施設を寄付
- 他の病院では3割の床がコロナ感染者患者のために確保。Isolation Ward (隔離病棟) の設置。



各国からのレポートその⑤：ランジャンムコパディヤヤ先生（2002年度渥美奨学生）によるインドからの報告



質疑応答タイム

国内外から大曲先生へ質問が続く中、大曲先生から各国のレポーターへさらに詳しい各地の状況を聞く場面もありました



会場のメンバーによる集合写真
会場出席者はスタッフを含め約20名に
人数を絞って開催しました



山科章先生による乾杯のご挨拶ののち、懇親会



レポーターの報告を聞くZoom参加者



懇親会の最後まで
Zoomで参加者された方々